



エコギャラリー新宿 (新宿区立環境学習情報センター・区民ギャラリー)

開館時間：10:00～21:00 (区民ギャラリーは、10:00～18:00)
 休館日：毎月第4月曜日・年末年始(12/29～1/3) 第4月曜日が祝日の場合はその翌日
 住所：〒160-0023 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内
 TEL 03-3348-6277 FAX 03-3344-4434
 E-mail：info@shinjuku-ecocenter.jp
 WEB：http://www.shinjuku-ecocenter.jp



- 徒歩 新宿駅西口より約15分
- バス 新宿駅西口ターミナル17番乗り場
 ■宿32【佼成会聖堂普門館前】行き「十二社池の下」より徒歩1分
 ■宿33【永福町】行き「十二社池の下」より徒歩1分
 新宿駅西口地下広場シャトルバス乗り場
 ■CH01(循環)【都庁舎】行き「都庁第一本庁舎」より徒歩7分
- 地下鉄 大江戸線「都庁前」駅A5番出口より徒歩5分
 丸の内線「西新宿」駅2番出口より徒歩10分

エコギャラリー新宿
 まるごとエコ Book

えこようび

みどりの街
 感じて。

P.2-5
 みどりのカーテン
 プロジェクト
 P.6-7
 センス・オブ・ワンダー
 —身近な自然

VOL.
 2



新宿「みどりのカーテン」プロジェクト

遠くへ行かなくても、自然を身近に感じることができます。自然を大切に思う心を育てることができます。エコギャラリー新宿で取組む「みどり関連事業」、新宿「みどりのカーテン」プロジェクトと「身近な自然」講座をご紹介します。

みどりのカーテンはどうして涼しいの？

「みどりのカーテン」とは、つる性の植物を窓の外にはわせて日差しを和らげる植物のカーテンのことです。植物には、水分を蒸発させるときの周囲を冷やす「蒸散効果」があります。このため、私たちは、みどりのカーテンを通して室内に入ってくる空気を涼しく感じることができます。

また、植物独特のすがすがしい香りや、葉の隙間からさす太陽の光など、嗅覚・視覚からも涼しさを感じることができます。

さらに、室温の上昇を抑えることで、冷房の使用を減らし、地球温暖化防止にもつながります。



みどりのカーテンは涼しい〜♪

新宿区のみどりのカーテンへの取組

CO₂排出量の削減に関する国際的な約束「京都議定書」の第一約束期間が終了し、新たな国際的枠組みとして、パリ協定が結ばれました。

日本は、パリ協定や、平成27年7月に国連に提出した「約束草案」を踏まえ、温室効果ガスの排出量を平成42年度までに平成25年度比で26%削減、平成62年までに80%削減することを目標としました。

新宿区は、平成29年度に策定した「新宿区第三次環境基本計画」で、平成42年度までに温室効果ガス(CO₂)排出量を平成25年度比で24%削減することを目標としています。

区は、地球温暖化防止に向けた区民の取り組みの1つとして、平成20(2008)年度から新宿「みどりのカーテン」プロジェクトを実施し、CO₂排出量の削減を目指しています。



新宿区立西新宿小学校のみどりのカーテン

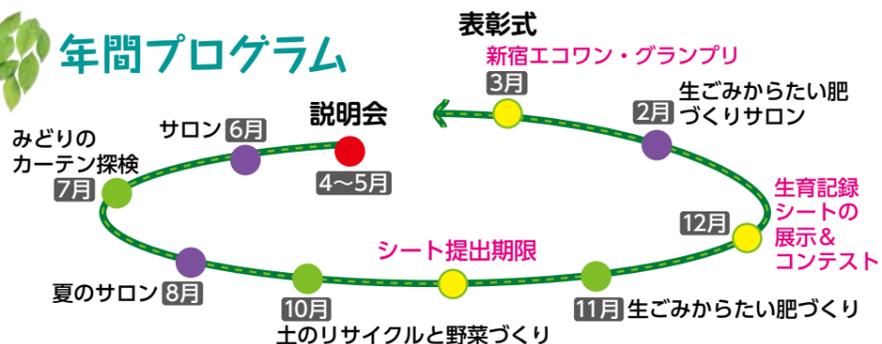
プロジェクトの特徴

企画運営は、新宿「みどりのカーテン」プロジェクトチームが行っています。区民・NPO・事業者・行政の連携チームのメンバーは、新宿区エコライフ推進員有志、NPO法人日本コミュニティガーデニング協会、大西和也氏(公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会)、地域の方々、新宿区環境清掃部環境対策課、新宿区立環境学習情報センター、指定管理者NPO法人新宿環境活動ネットほかです。



年間プログラム・運営方法も会議で話し合います

年間プログラム



年間を通して楽しめるプログラムです

10年間(2008~2017年)で、区民6773人が、ゴーヤーのみどりのカーテンを育てました。

目標

- 暮らしのなかのみどりを通じて、地球温暖化に関心を持ち、自分ができることを実行する人の環をひろげよう
- 地域でのコミュニケーションを活発にし、地域でのひろがりづくりにつなげよう(うりとも*の環！)
- みどりのカーテンによる省エネ効果で、CO₂削減量の見える化・定量化をしよう

*「うりとも」：ゴーヤーについて話し合う友達

4月~7月 プロジェクトスタート



説明会



講師はプロジェクトメンバーのみなさん。経験に基づくお話は説得力があります



会場では、ネットの張り方、水やりの工夫など、育成に関するヒントを紹介しています。みどりのカーテンプロジェクト受賞作品も展示します

説明会は、初めて参加する方に向けた内容と2度目以降参加される方に向けた内容の2部制。初めて参加する方には、みどりのカーテンの育て方を分かりやすくお話しします。2度目以降の方とは、主に情報交換を行っています。



初めて参加する方には、ゴーヤー苗2株とプランターキット(プランター土・肥料・ネット・野菜のたい肥)を配布します



2度目以降の方には、ゴーヤー苗2株と土のリサイクル材を配布します



苗は、固定種の「あばしゴーヤー」。収穫したタネから次年度も育てることができます



ゴーヤーの育て方、楽しみ方のコツが一目で分かるハンドブック。説明会のテキストです



サロン

話し合いの中で解決策も見つかります

育て方で困っていることや不安に思うことを話し合います。「こんなに元気に育っています」などの自慢話も！

プロジェクトメンバー 桐生さん

12年前、新宿区エコライフ推進員になった時、最初に取り組んだのが新宿「みどりのカーテン」プロジェクトでした。植物を育てるのは大変ですが、愛情を持って育てれば必ず応えてくれます。育てる喜びと収穫の楽しみの2つが得られ、温暖化対策にもなるゴーヤーは最高です。



プロジェクトメンバー 赤荻さん

都会に暮らしていても自然を身近に感じることができます。このプログラムもその1つと言えるでしょう。小さな苗がみどりのカーテンとなり、私たちに涼しさと喜び、生活に潤いを与えてくれます。ぜひ一緒に分かち合ってみませんか？

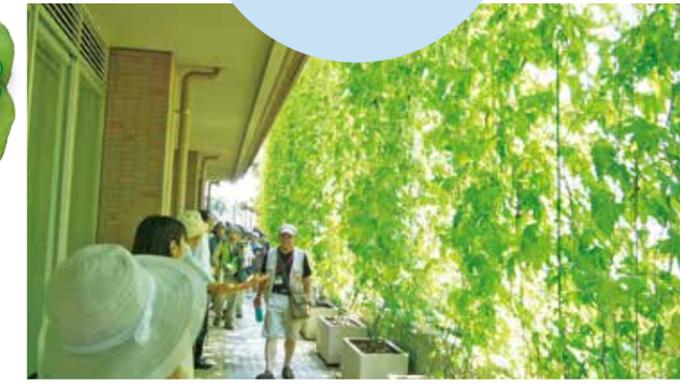


プロジェクトメンバー 水田さん

新宿「みどりのカーテン」プロジェクト活動を通して、育て収穫する喜びだけでなく、人と繋がる楽しみを実感しました。ゴーヤーを育てながら、世代を超えた「ゴーヤー仲間」が増え地域の人の交流も大きくひろがり嬉しい限りです。今後も引き続き「年間プログラム」への参加、「ハンドブック」の活用によって、この取り組みが、区民の皆様にも広がることが期待しています。



みどりのカーテン探検



目白大学のみどりのカーテン

みどりのカーテンを探しながら、まちあるきをします。まちの歴史も学びます。

8月～12月

毎日がゴーヤー料理?! 風にそよぐ葉にも癒されます。カーテンが終了したら、来年の準備にもとりかかりましょう。

夏のサロン



ゴーヤー料理のレパートリーもひろがります

ゴーヤーのおいしい食べ方を話し合います。ゴーヤー話に花が咲き、笑顔があふれます! 平成28年度からサロン形式で実施しています。



ゴーヤーは捨てるどころがありません。葉もワタもタネも天ぷらでおいしくいただきます

ゴーヤーのラトトッコ。ゴーヤーのカレー漬けをポテトサラダに。葉でつくるシフォンケーキ



赤くなったゴーヤーは、ジャムにするとおいしいですよ

土のリサイクルと野菜づくり

来年も元気なみどりのカーテンを育てるために、そして使い終わった土を捨てずに済むように、土のリサイクル方法をお話します。プランターで冬野菜を育てるコツもお伝えします。



実演を交えながら、話合いの時間もたっぷりあります

みどりのカーテンからひろがる うりともコミュニケーション!



新宿区のみどりのカーテンは夏の風物詩になりました!



実演とお話で分かりやすく伝えます

生ごみからたい肥づくり

ダンボールを使って、生ごみと落ち葉でつくるたい肥です。家庭のごみも減ります。



タラちゃん

プロジェクトメンバー 土橋さん



花をメインに育てていたけれど、「新宿生まれの野菜を作りたい」と思い、ゴーヤーを選びました。ゴーヤーは、狭い場所でも、少し日陰でも、元気に育つツル性植物。夏場に涼しさも運んでくれます。ですが、水やりの水を大量に使わない、使い終わった土も捨てない「エコな活動」となるよう、揺りかごから何とやら、道具から栽培方法まで、そのコツを徹底的にお伝えしたいと思っています。私にとっても、このプロジェクトは良い学びの場です。

プロジェクトメンバー |さん



植物を育てる事が困難な新宿の環境で、毎年大勢の参加者がいるのは嬉しい事です。参加者の期待に応えるため、その声に耳を傾け、真剣に討議を重ねながら活動を続けることに、誇りを持っています。その根底には、ゴーヤーを愛し、楽しく活動できることがあります。そして、このプロジェクトは私の一番の勉強の場でもあります。もう少し頑張れるかな!!

プロジェクトメンバー 板本さん



どの会場でも、受講された皆様のゴーヤー育成に対する熱意と愛情を日々感じます。スタッフの一員として元気に幸せを頂いていることに感謝です。朝顔やミニトマトを混ぜたカラフルなカーテンもお勧めです。

1月～3月

みなさんの素晴らしい記録シートを楽しみながら、ゴーヤーの季節を指折り数えます。

みどりのカーテン展

生育記録シートの展示会です。お気に入りを選ぶコンテストでの上位者は新宿エコワゴン・グランプリで表彰されます(特別賞:みどりのカーテンプロジェクト賞)。みどりのカーテンとのひと夏の思い出が詰まった記録シートの数々。その愛情深い内容に感激です!



にゃん



58さん



Dさん

大災、天災とももの一年だった。

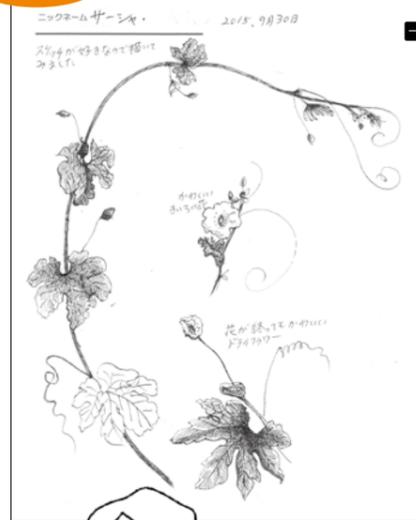
苗をいただいてからプランターに土を入れるまでの数日間、風の強い日が続き、1.5m くらいのグリーンボールの鉢が動くほどだった。鉢が倒れるのではなく、鉢ごと吹き飛ばされるのである。風が年々ひどくなる。ビュービューという音とともに吹き渡る、夜など不安になるほどだ。土を入れるまでにゴーヤーの苗が再三吹き飛ばされ種も散らばってしまった。

いよいよ土を入れる日になって、自家製の堆肥の袋をあけて置いた。堆肥にはダンゴムシが大量に発生していて、使うのを見合わせなければならなかった。まるまると次で、どうやらこんな大きな大きな虫なんだろうと言いたくなるようなものばかりで、ダンゴムシ退治に熱中しなければならなかった。

ゴン太君



サーシャ



ペンテンジェン



プロジェクトメンバー 友永さん



ゴーヤーの季節の朝は、水やりから始まります。花が咲いた、ツルが伸びたなど家庭内での話はずみずみ。「ゴーヤーがいいわよ」と薦めた地域の方から、とても元気に育っていると電話をいただくことも。これからも、「うりとも」が増えることを願って、活動していきます。

これからみどりのカーテンをはじめよう うりともへのアドバイス! (平成29年度参加者より)

- ◆私にも(どうか)出来たので、やってみてください!
- ◆まずはやってみよう。植えてみよう。植物の力ってすごいなあと思いました。
- ◆新宿「みどりのカーテン」プロジェクトの講師の方のアドバイス通り育てれば大丈夫! ゴーヤーの生命力がすごいので。
- ◆夏の楽しみが増えます。ゴーヤーカレーがおいしかった。
- ◆日差しをさえぎり、目にもやさしいみどりのカーテン。実の収穫も楽しみでした。

10年間(2008~2017)年で、1872枚の生育記録シート*が寄せられました!

*区民



The sense of wonder

センス・オブ・ワンダー

“豊かな大自然”に囲まれたところ豊かな生活をしたという方は多いでしょう。しかし私達の新宿はそれとは対極にある大都会です。人工の光や音が溢れ、鳥や虫などの自然の営みを感じることも難しい環境です。でも、諦めずに、

少しだけ好奇心をもって周りを観察してください。今まで見ていなかったことが見えてくるでしょう。都会でも植物はもちろんのこと、鳥や虫が思いのほか棲息していることや、ビルで仕切られた夜空にも星が輝いていることに気づくでしょう。金星や土星、木星などの惑星だって見ることができます。キーワードはセンス・オブ・ワンダー（※1）です。意識することでたくさんの驚きに出会えます。あなたのセンス・オブ・ワンダーを呼び起こしましょう。



セミの羽化観察会

2010年夏のある夜、エコギャラリー新宿の職員が、新宿中央公園の木の枝に白いものが風に揺れているのに気づきました。それはセミの羽化でした。「高層ビル街の公園でセミの羽化が見れるんだ」その夏から翌夏にかけて観察を続け、2012年からセミの羽化観察会がはじまりました。今では毎年7月下旬から8月上旬にかけて5~6回実施しています。



土の中で数年過ごしたセミの幼虫が、地上に出てきて、今まさに大変身するさまは感動的です。セミはこの瞬間は外敵には全くの無防備です。それを、大人も子どもも固唾を呑んで見守ります。



観察会の実施は6月中旬に新宿区報およびエコギャラリー新宿のホームページでお知らせいたします

アゲハチョウの飼育展示

情報コーナーにアゲハチョウの観察コーナーがあります。60cm×35cm×30cmほどのガラス容器でアゲハチョウの幼虫が飼育されており、成長の様子を観察することができます。エコギャラリーガーデンのミカン木に産み付けられた卵から孵った幼虫です。卵のうちに来る子もいます。アゲハチョウは初夏から秋まで次々と産卵するので、卵、大小の幼虫、蛹を一時期に見れることもあります。エリック・カールの“はらぺこあおむし”に似ている終齢幼虫は子どもたちに大人気です。



センス・オブ・ワンダー

著書「沈黙の春」で農業や化学物質による環境破壊に警告を鳴らしたレイチェル・カーソンが、幼い子どもと自然を探索した体験をもとに書いたエッセイの中で“神秘さや不思議さに目をみはる感性”の大切さを語っています。その感性が“センス・オブ・ワンダー”です。レイチェルは、子どもたちのさまざまな事象に驚き感動する感性が、やがて知識や知恵を育く肥沃な土壌になると固く信じていました。



基礎から学ぶ寄せ植え講座

植物を身近に置きたいけれど、「庭がない、日照が少ない、そもそも植物の知識がない」などの理由で植物を育てることを諦めている方々のための講座です。“寄せ植え講座”としているのは、草花を組み合わせることで、小さなお庭や花壇の楽しみを少し体感できると考えているからです。

講座ではレイアウトや土や肥料、管理の仕方なども学びます。使う植物はたくさんの中から自分で選びます。ずいぶん迷う方もいらっしゃいますが、実際の花売り場で選択できるようにという配慮です。講座の最後には全員の作品を講師の講評を聞きながら鑑賞するのも刺激になります。

皆さんの作品が、玄関先や路地などに飾られ、それがご近所にも伝わり、草花があふれる街角の風景が新宿中に広がっていくことを期待しています。そしてそれは、鳥や虫たちを呼ぶオアシスになることを意味しています。



講座の開催は約1ヶ月前に新宿区報およびエコギャラリー新宿のホームページでお知らせいたします

最近の年間実施例

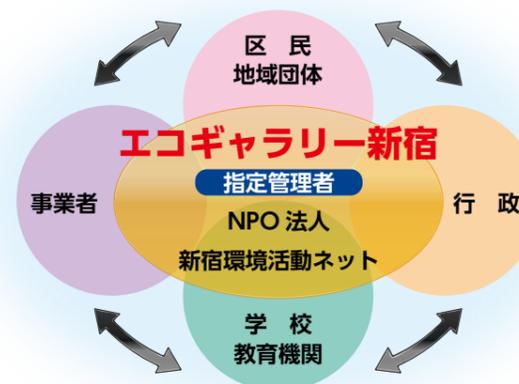
- 4月：初夏の草花で寄せ植え
- 5月：母の日に贈る寄せ植え
- 6月：ハーブと野菜の寄せ植え
- 7月：涼を楽しむ苔玉
- 10月：ハンギングバスケット
- 11月：クリスマスツリーを寄せ植えでつくる
- 12月：お正月を迎える寄せ植え
- 1月：球根をつかう早春の寄せ植え
- 2月：多肉植物で寄せ植え

エコギャラリー新宿とは

都会の森「新宿中央公園」にある「エコギャラリー新宿」は、1階に文化活動の発表の場「区民ギャラリー」、2階に環境情報・活動の拠点「環境学習情報センター」を併せた新宿区の複合施設です。

気候変動対策、資源の効率的な活用、自然共生などの環境課題はもちろん、環境・経済・社会・文化を統合した「文化の香り高い持続可能な都市 新宿」の実現に向け、区民・NPO・事業者・行政・教育機関をつなぐ交流拠点として、企画・運営の段階からマルチセクターの参画も得ながら運営しています。

※2004年4月より、公募による選定を経て、NPO法人新宿環境活動ネットが指定管理者として管理運営しています。



エコギャラリー新宿

イメージキャラクター エコ王子

名前：エコ王子
 出身：エコギャラリー新宿
 特技：空を飛ぶこと
 エコ上手（日々勉強中）
 マイブーム：エコバック
 木のペンダントづくり

